

■ ■ ■ 点検不備問題に係る再発防止対策（安全文化醸成）のスケジュール表 ■ ■ ■

実施箇所：原子力強化プロジェクト

アクションプラン進捗管理表（AP4：原子力安全文化醸成活動の推進）

リーダー：原子力強化プロジェクト部長

2019年6月30日現在

原因	安全文化要素のうち「報告する文化」及び「常に問いかける姿勢」が組織として不足していた。	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「報告する文化」や「常に問いかける姿勢」を中心に、安全文化醸成活動を推進する。 ・地元の方々との対話活動の充実を図り、地元の方々と直接対話することにより、「地域に対し一人ひとりが約束を果たし続ける」という地域視点意識の向上を図る。 ・「原子力安全文化の日」を中心に、このたびの事態を厳粛に受け止め、今後二度と同じことを繰り返さないため、また、経営における原子力の重要性や地域・社会の視点からの安全文化の大切さを全社で共有し、再確認する。 ・「原子力安全文化有識者会議」へ施策の実施状況等を報告し、第三者の視点から検討事項に対する提言を受ける。
要求事項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 「報告する文化」や「常に問いかける姿勢」の浸透が十分でなかったことに着目し、具体的な活動を推進していく。 (2) 経営における原子力の重要性や地域・社会の視点からの安全文化の大切さを全社（関係会社・協力会社含む）で醸成する活動を推進する。 		

－ 凡例 － 計画：▽□, 実績：▼■

実施事項	スケジュール													
	2018年度		2019年度											
	上期	下期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. 原子力安全文化を風化させず、一人ひとりに徹底する活動の推進 ・ 職場話し合い研修 ・ グループ行動基準の策定・実践 ・ 転入者、新入社員に対する研修	■	■	話し合い研修								事例研修			
	7回実施		▼4/15 転入者 ▼4/18 転入者、 新入社員(事務)			▼6/10 転入者 ▼6/25 新入社員(技術)			行動基準の策定・実践		振り返り			▽転入者
2. 「地域に対し一人ひとりが約束を果たし続ける意識」の向上 ・ コンプライアンス行動基準の策定・実践 【お客さま視点の価値観を認識する機会の拡大】 ・ 見学会等の対応・同席 ・ 定例訪問への参加 ・ 地元行事への積極参加 ・ 社会貢献活動への参加 ・ 地元意見の職場共有	■		振り返り			コンプライアンス行動基準の実践		振り返り		■				
			発電所員の見学会の対応・同席		発電所員の定例訪問への参加		地元行事への積極参加		社会貢献活動への参加		地元の方々との対話内容を職場会議等で共有			
3. 「原子力安全文化の日」を中心に、安全文化の全社（協力会社を含む）共有および再確認 ・ 社長メッセージ発信	▼		▼6/3 原子力安全文化の日 社長メッセージ発信											
4. 適切な発注業務管理の推進 ・ 適切な発注業務に係る教育 ・ 請負者に対する適切な受注業務要請		■				▼フォロー状況確認		▽フォロー状況確認		▽フォロー状況確認		フォロー状況確認 ▽		
5. 「原子力安全文化醸成計画」に統合し実施する施策他 ・ 役員と発電所員の意見交換 ・ 安全文化醸成講演会（研修会）	8回実施		▼6/3 顧問 ▼6/19 副社長			▽		▽		▽		▽		
6. 有効性評価、次年度計画策定	■						中間評価		有効性評価、次年度計画策定					
7. 原子力安全文化有識者会議の開催		▼▼					実施状況（説明、提言） ▽		評価結果、次年度計画（説明、提言） ▽					

4/1～6/25 職場話し合い研修
 他社で発生した不適正な事象を取り上げ、「自分たちの職場で問題は（発生するおそれ）はないか」今一度振り返り、その結果を踏まえ、社会からの要求水準の高い「原子力事業に従事する者として、自分たちはどう取り組むべきか」について話し合いを実施。
 4/1～5/23 グループ行動基準の振り返りおよび2019年度の行動基準の策定。
 4/1～6/24 コンプライアンス行動基準の振り返りを実施。
 4/15 転入者教育（1人）
 4/18 転入者教育（1人）、新入社員教育（事務1人）
 6/3 原子力安全文化の日
 ・ 全社行事（社長メッセージ発信 等）
 ・ 発電所行事（「誓いの鐘」の鐘打、社長訓話 等）
 6/3 顧問と発電所員（発電所部長以上）との意見交換
 【フリーディスカッション形式で実施】
 6/10 転入者教育（2人）
 6/19 副社長と発電所員（発電所課長）との意見交換
 【テーマ：業務効率化に向けて、工夫していること、苦労していること、支障となっていることなど】
 6/25 新入社員教育（技術17人）
 ◇請負者への要請フォロー状況（4月～6月）
 ・ 取引先説明会（5/15:47社）
 ・ 新規取引先への適切な受注業務要請（5/10:5社、5/24:1社）
 ・ 不適切な発注情報なし。

現在の状況	対策の検証方法と検証結果	自己評価（有効性評価、次年度への取組み）	備考（懸案事項他）
<p>4/1～6/25 職場話し合い研修 他社で発生した不適正な事象を取り上げ、「自分たちの職場で問題は（発生するおそれは）ないか」今一度振り返り、その結果を踏まえ、社会からの要求水準の高い「原子力事業に従事する者として、自分たちはどう取り組むべきか」について話し合いを実施。</p> <p>4/1～5/23 グループ行動基準の振り返りおよび2019年度の行動基準の策定。</p> <p>4/1～6/24 コンプライアンス行動基準の振り返りを実施。</p> <p>4/15 転入者教育（1人）</p> <p>4/18 転入者教育（1人）、新入社員教育（事務1人）</p> <p>6/3 原子力安全文化の日 ・全社行事（社長メッセージ発信等） ・発電所行事（「誓いの鐘」の鐘打、社長訓話等）</p> <p>6/3 顧問と発電所員（発電所部長以上）との意見交換 [フリーディスカッション形式で実施]</p> <p>6/10 転入者教育（2人）</p> <p>6/19 副社長と発電所員（発電所課長）との意見交換 [テーマ：業務効率化に向けて、工夫していること、苦勞していること、支障となっていることなど]</p> <p>6/25 新入社員教育（技術17人）</p> <p>◇請負者への要請フォロー状況（4月～6月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取引先説明会（5/15:47社） ・新規取引先への適切な受注業務要請（5/10:5社, 5/24:1社） ・不適切な発注情報なし。 	<p><検証方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的活動計画に沿って適切に活動が実施されていること。 ・プロジェクト個別施策に対する参加者アンケート結果等、および「常に問いかける姿勢」「報告する文化」に関連する原子力安全文化アンケート結果等により評価を行う。また、これらの結果を原子力安全文化有識者会議にインプットし、第三者の視点で評価を受ける。 		